

2023年6月1日

汐田総合病院

Ushioda

General

Hospital

初期研修プログラム

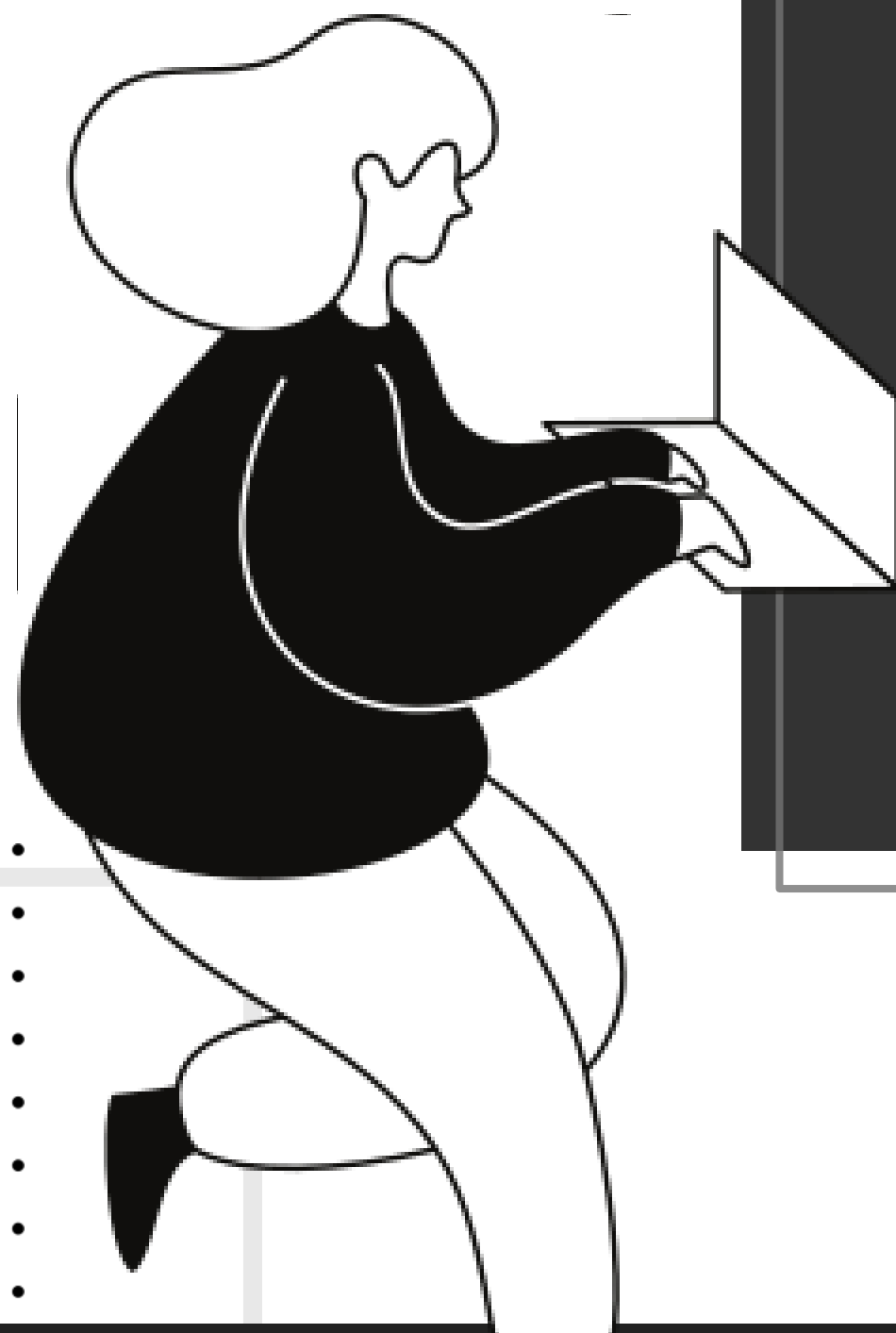
地域とともにはぐくむ医療と介護
そこに差別があってはなりません。
私たちは、患者さまと共につくる医療、
信頼と納得の医療、
無差別平等の医療を追求します。



01

はじめに

病院概要や
グループについて



神奈川県横浜市鶴見区

JR南武線「尻手駅」から徒歩約10分

尻手◀2分▶川崎

尻手◀12分▶横浜

尻手◀27分▶新横浜

尻手◀28分▶東京



近くにはラゾーナ川崎や中華街など。
横浜・川崎の遊びや観光はもちろん、
神奈川県には魅力がいっぱい。



病院概要

法人名	公益財団法人横浜勤労者福祉協会
設立	1953年（昭和35年「汐田診療所」として）
医師	常勤 42名 非常勤102名
病床数	324床 （一般急性期・回復期リハビリ・地域包括ケア）
診療科	内科/総合診療科/外科/整形外科/小児科/眼科 皮膚科/耳鼻科/脳神経外科/脳神経内科/精神科 泌尿器科/婦人科/歯科口腔外科/救急科 リハビリテーション科



病院沿革



診療所から汐田病院へ（昭和35年）



うしおだ診療所（2012年）

「病気やケガをしても
お金の心配なく安心
して治療を受けたい」
という地域の方々の
協力のもと作られた、
「働く人たちの病院」



小児マヒから子供を守る行動（駅談者名）

その後ベッドが増えて汐田診療所→汐田総合病院になったが、
施設が手狭になったため2001年に鶴見区矢向に新築移転。

元の建物（下野谷町）は「うしおだ診療所」として稼働中。

総合診療

プライマリケアを しっかり学べる

地域の総合病院として初期治療・救急・急性期・回復期・終末期ケア・在宅医療に至るまで幅広い医療を展開しています。



神経疾患に強くなれる

市中病院としては異例の神経内科医・
脳卒中専門医の在籍数。

(2024年現在神内7名+α在籍)

大学病院にも負けないくらい様々な症
例を診ることができます。



教育環境の充実

学会3回/年 参加費用病院負担

Up-To-Date 登録費用病院負担

1学会年会費 登録費用病院負担

東邦・昭和・横浜市大等、大学病院との
連携あり。



きめ細やかな指導体制

研修医が少人数なので、病院全体で
研修医を指導する文化があります。

医局はアットホームな総合医局で、

上級医やコメディカルにも相談しやすい！

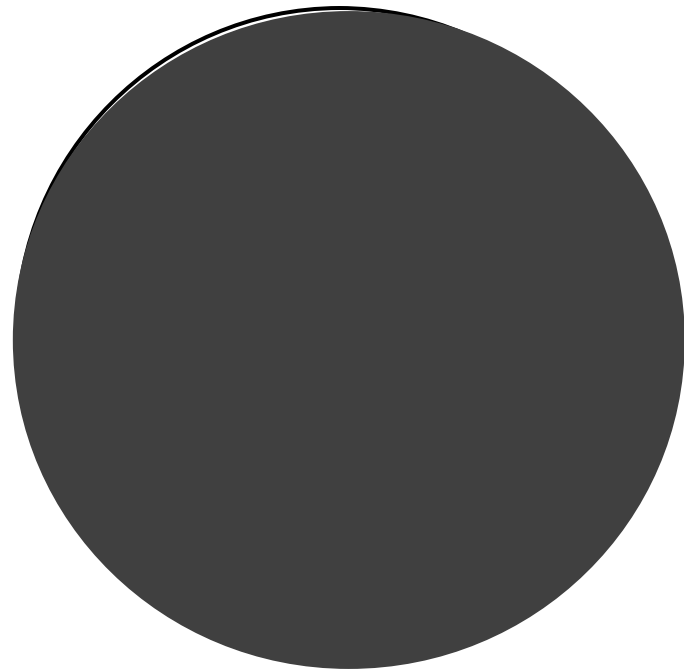


02

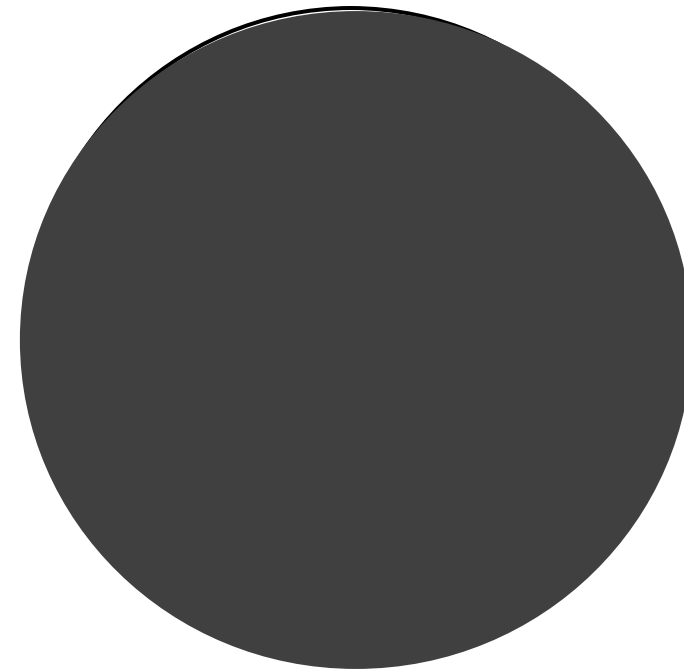
研修プログラム について



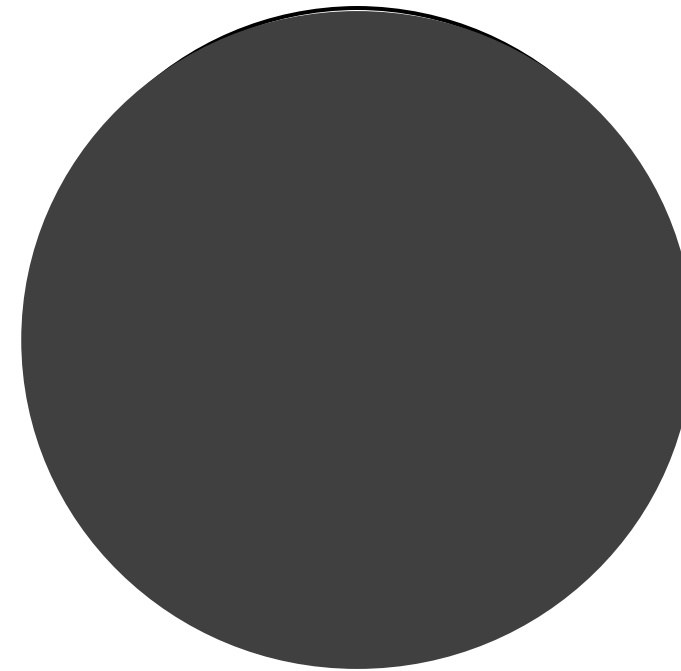
1学年2名（7年連続フルマッチ）



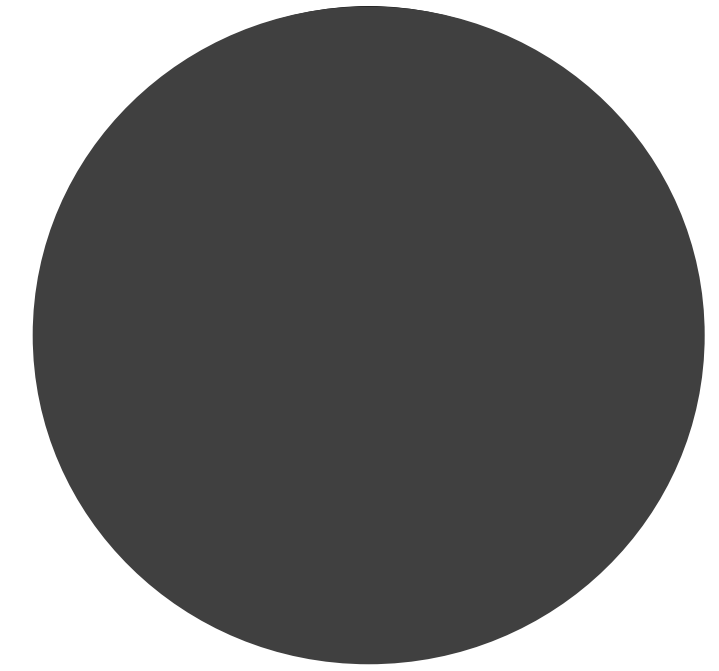
横浜市立大学卒
1年目研修医



名古屋市立大学卒
1年目研修医



横浜市立大学卒
2年目研修医



信州大学卒
2年目研修医

出身大学（過去約10年実績）

旭川医科大学 / 北海道大学 / 弘前大学 / 東北大学 / 福島県立医科大学 / 新潟大学 / 富山大学 / 金沢大学 / 信州大学 / 浜松医科大学 / 群馬大学 / 北里大学 / 聖マリアンナ医科大学 / 東海大学 / 横浜市立大学 / 関西医科大学 / 高知大学 / 愛媛大学 / 大分大学 / 長崎大学 / 宮崎大学 など

週間スケジュール例（神内編）

勤務時間 8:30~17:00

	月	火	水	木	金	土
8:30	抄読会 (図書室)	脳外神内 合同カンファ	抄読会 (図書室)	神内カンファ (4F)		休み
AM	病棟業務	外来	病棟業務	総回診	救急当番	
PM	5Fカンファ 総回診	研修医MT (毎月第4)	病棟業務	外来	協同病院 合同カンファ	総診エッセンシャル講座 (不定期)

研修口一例

- ※① 内科32週は導入期・神経内科研修を含む。
- ※② 各週1回程度で状況に応じて回数は調整可。原則上級医と共に診療を行う。
- ※③ 28週のうち12週は院内での研修とする。総合診療科・脳神経外科・神経内科・リハビリテーション科・外科・整形外科・救急科は当院で研修可能。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	導入期 研修 (4週)	救急科 (4週)	総合診療科 (内科15週) ※①			整形外科 (8週)		外科 (8週)		神経内科 (13週)		
研修先						基幹型						
並行研修 ※②						当直						
						救急外来						
						内科一般外来						

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2年次	救急科(8週)		小児科 (4週)	精神科 (4週)	産婦 人科 (4週)	地域 医療 (4週)	選択期間(28週)※③					
研修先	基幹型		協力型			基幹型もしくは協力型						
並行研修 ※②						当直						
						救急外来						

連携施設一覧

連携施設選択研修

地域医療研修

川崎協同病院

(循環器内科/小児科/消化器内科)

うしおだ診療所

(精神科を強みに小規模多機能な
地域医療を実践)

大田病院

(呼吸器内科)

うしおだ在宅クリニック

(訪問診療・往診専門)

神奈川病院

(精神科)

久地診療所

(家庭医集団)

済生会横浜市東部病院

(産婦人科/小児科/精神科
麻酔科/呼吸器内科)

生協戸塚病院

(小規模病床/在宅医療)



当直について

原則月4回(17:00~翌9:00)

朝5:00~9:00は仮眠可能。明けは半日休み。

研修医

01

I 期

5.000円

1年目6月ごろより開始

見習い期間

02

II 期

10.000円

1年目夏~秋ごろ目安

アナムネ聴取オーダー入力

03

III 期

15.000円

1年目冬~2年目初頭目安

患者帰宅前に指導医チェック

04

自立

33.000円

自立後も上級医から

全例カルテチェック

指導医

01

見学指導

指導医の診療見学

指導医の指導のもと

可能な範囲の診療実施

02

外来診療

指導医がトリアージ

指導医の指導のもと

外来診療実施

03

補助

指導医の指導のもと

外来診療実施

04

継続

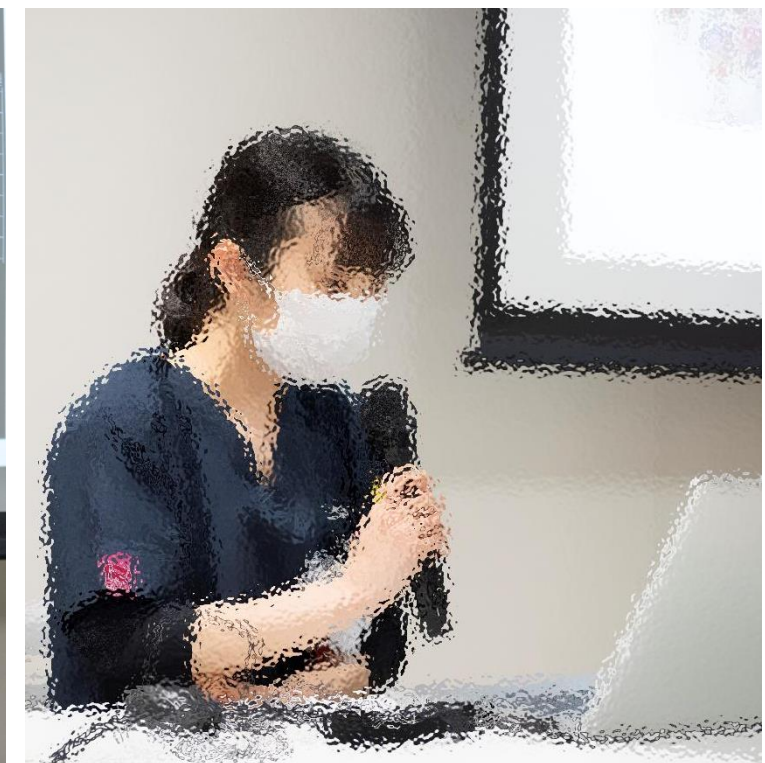
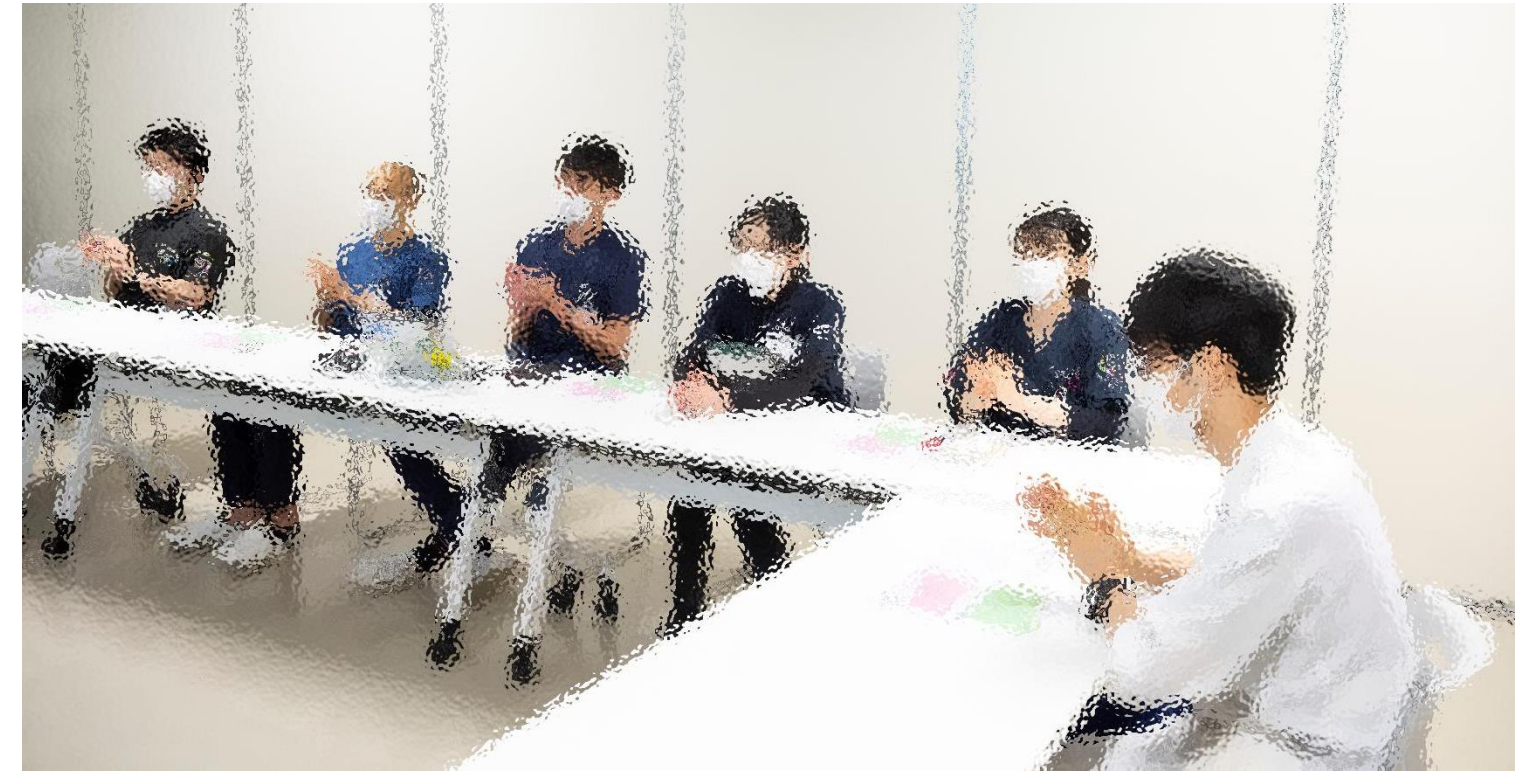
自立後も病棟当直医の

指導のもと診療を行う

「評価」ではなく 「話し合いと共有」

毎月第4火曜日は研修医・若手医師
を中心に一か月の研修を振り返る時
間を設けています。

個々の体験や疑問を共有して一緒に
解決法を探ったり、時には指導医から
の意見をもらって成長する場です。



内科専門医プログラム

横浜市北部医療圏において二次救急拠点病院である当院を基幹施設に、様々な連携施設での内科専門研修プログラムを経て横浜市の医療事情を理解します。

内科専門医取得後、**神経内科専門医**試験を受けられる環境が整っています！
(神経内科教育認定施設)

内科 総診
ダブルボード
OK

総合診療プログラム

多種多様な Common disease を診ることができます。
法人内外の事業所と連携して地域医療を学べる！

専門医取得後、**病院総合診療専門医**の研修を+1年間可能！
(当院もしくは日本病院総合診療医学会の認定施設で研修を行った方)

03

待遇 / 選考について

給与・待遇 / 選考プロセス
についてご紹介



待遇 / 選考方法

給与 / 待遇

募集定員 2名

待遇 1年次/345.000円 2年次/365.000円
(いずれも医師手当込み)

手当 住宅手当
(世帯主 15.450円、非世帯主 4.450円)
扶養家族手当、当直手当、通勤費全額支給

賞与 年2回(夏・冬)

勤務 4週8休

休暇 有給休暇(初年度10日、勤務歴により加算)、
オールシーズン休暇(4.5日)

社会保険 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、
共済制度 等

選考方法

- 病院実習参加
- 夏頃に面接・小論文

※採用決定

医師臨床研修マッチング協議会組
み合わせ決定日の結果による。

プロ責からのメッセージ



研修プログラム責任者

総合診療科部長

佐野 正彦

初期研修の2年間を無事に健康に
終わることが大切です。

横浜での地域医療に関心がある医
学生の皆さん、ぜひ一度私たちの
医療を体験しにきてください！

04

院内紹介

院内の様子について
ご紹介します。



院内紹介



食堂兼売店
ラウンジぴゅあ



リハビリテーション室



病室



手術室



うしおだ総合
ケアセンター



放射線室



総合受付



ナースステーション

05

民医連紹介

当院の加盟する民医連の
詳細について



無差別平等
の医療

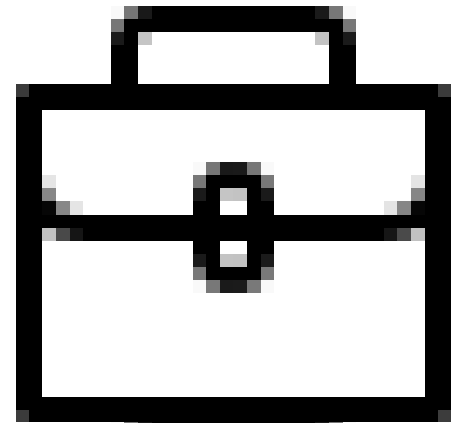
全人的医療

地域の人たち
との協力

いのちの平等

予防医療

健康な
街づくり



差額ベッド代なし

個室の運用は病状・医療的必要性に応じて決定しています。お金のあ
るなしで医療に差はつけません。



無料低額診療制度

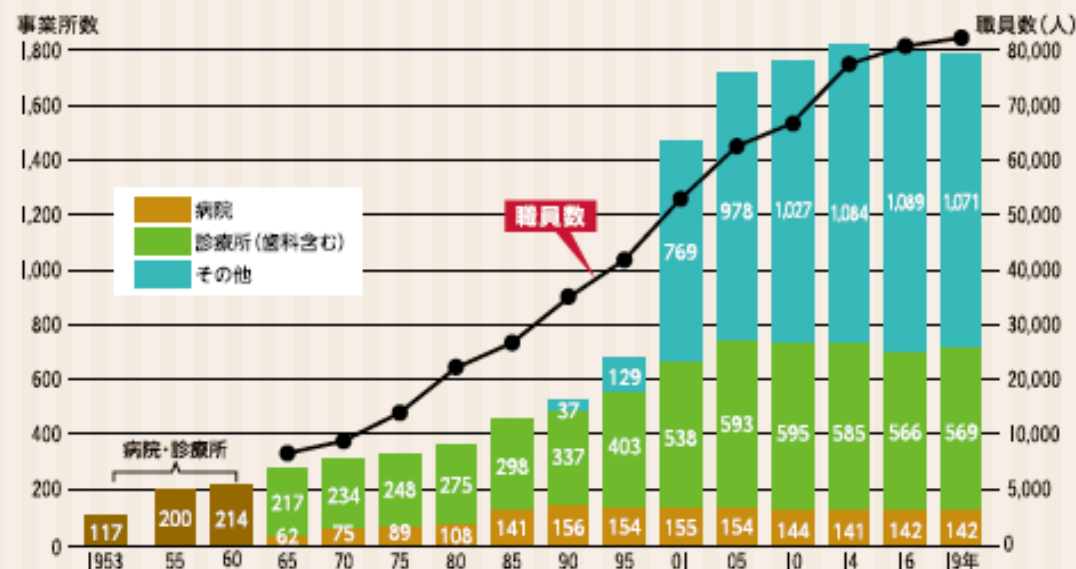
医療が必要にもかかわらず、経済
的な理由により受診困難な方を対
象に、減額や免除を行う制度です。

比較

データで見る 民医連

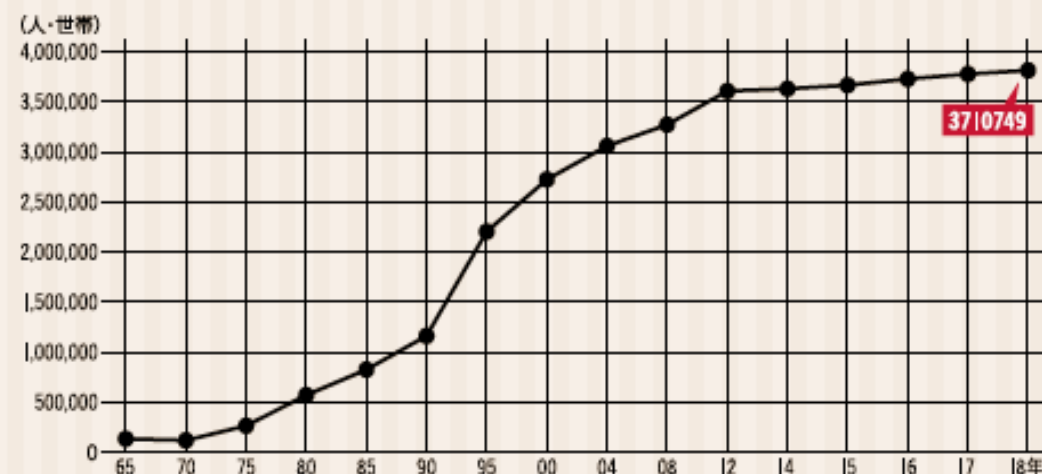
事業所数・職員数の推移

※～60年は「民医連運動の軌跡(1983年発行)」や「総合運動方針」から抜粋、65年～は「現状調査」から抜粋。



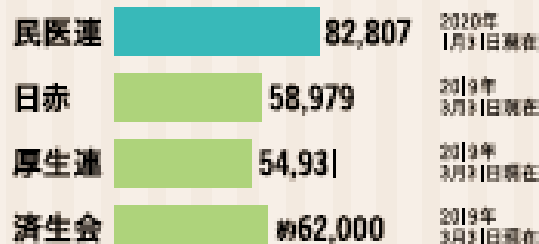
共同組織構成員の推移

2018年12月現在

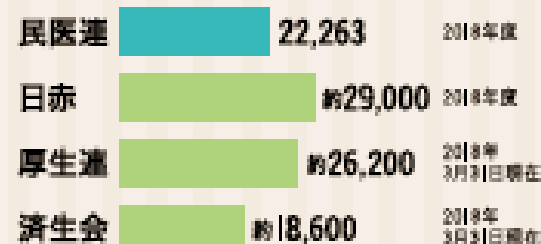


主な医療団体との比較

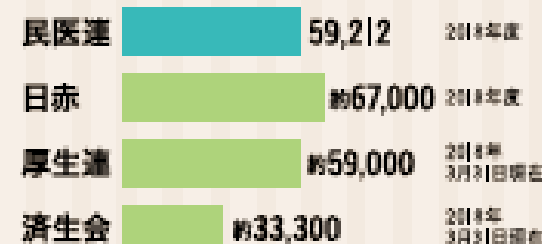
職員数 (※日赤は医療事業のみ)



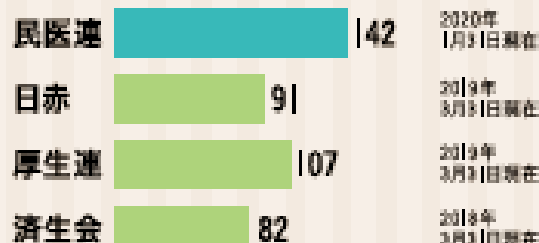
日平均の入院患者数



日平均の外来患者数



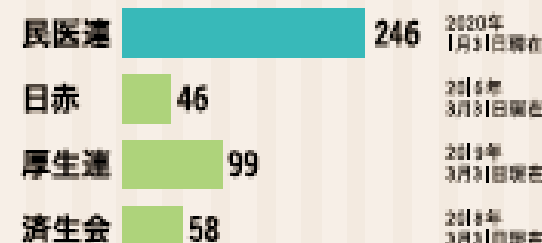
病院数



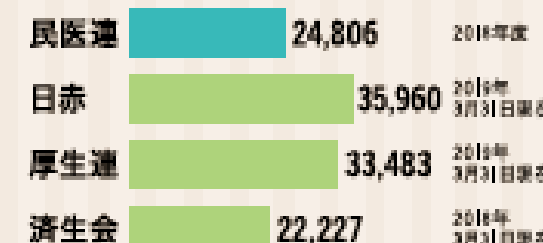
診療所数



訪問看護ステーション数



病床総数



全日本民医連の機構

全日本民主医療機関連合会 事務局: 東京都文京区湯島2-4-4



7つの地方協議会(地協)を構成する県連合会

北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北関東・甲信越	群馬、埼玉、新潟、山梨、長野
関東	茨城、栃木、千葉、東京、神奈川
東海・北陸	富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、鹿児島、宮崎、沖縄

都道府県連合会(46県連)

県連は「民医連綱領・規約」を承認する病院・診療所・保険薬局・介護福祉施設などの事業所で構成されています。

病院/診療所/歯科/訪問看護/ヘルパーステーション/介護老人保健施設など 法人(公益法人・医療法人・生活協同組合など)

保険薬局 法人(一般社団法人・株式会社・有限会社など)

特別養護老人ホーム/介護支援事業所など 法人(社会福祉法人など)

その他の事務所/看護・介護学校/セントラルキッチンなど

あなたのまちの民医連事業所一覧



奨学金制度

神奈川県民医連の奨学金は、私たち民医連綱領（医療理念）や医療活動に共感し、卒業後神奈川県民医連で地域医療を担いたいという方を対象とした貸与型の奨学金です。

対象者

医学部医学科在学中の学生、または、医学部医学科への進学が決定している方で、本制度の目的をご理解・ご了承いただいている方。

金額

1年生～6年生

月額

80.000円

返済

奨学金支給終了の翌月から返済となります。原則一括返還を行うものとなります。ただし、理事会が承認した場合に限り、貸与期間を上限として分割返済を認めます。（年2%の利息が発生）

神奈川県民医連が指定する医療機関で勤務をした場合は、別に返済免除制度が適応されます。

奨学金制度に関するQ&A



審査はあるの？

神奈川県民医連の奨学金規定に該当しているかの審査があります。

必要書類を提出していただき、医師との面接などがあります。

※年度の途中からでも応募できます。



他の奨学金と併用可能ですか？

学生支援機構との併用は可能です。

その他の奨学金についてはお問い合わせください。



神奈川県以外の大学でも利用できますか？

利用できます。

全国に民医連の担当者がおり、医学生をサポートしています。



返済免除規定はありますか？

あります。

神奈川県民医連内の医療機関で一定期間勤務をすることで免除になります。

※一定期間は貸与期間によって異なります

随時説明会をおこなっています。お問い合わせください。

神奈川県民医連 医学生担当 TEL 045-320-6371



神奈川県民医連
ホームページ

病院見学はお気軽に

実習は土日祝を除く平日。

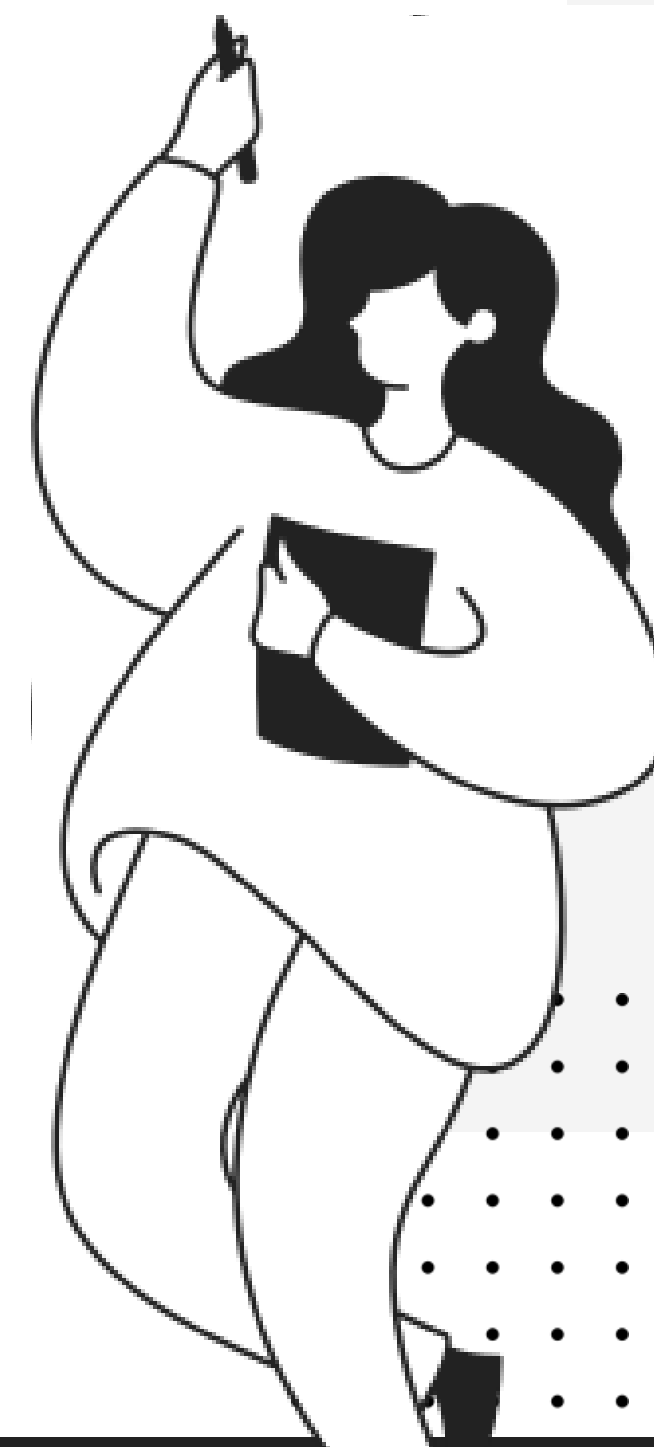
基本は1日単位ですが、短時間、複数日程、当直実習、
多職種実習も受け入れています。

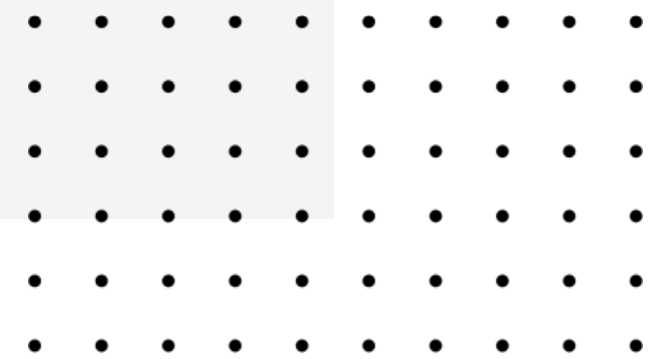


汐田総合病院

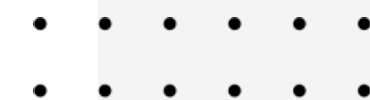


<https://www.ushioda.or.jp/>





皆様からのご応募 お待ちしております！



[お問い合わせ・ご質問]

医学生担当LINE

